

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かのん		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 17日 ～ 2025年 12月 5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童にそのとき必要な支援内容を考え、個別療育をしている。	どこまでできるか職員同士で確認を行ない、難しい場合は支援内容の変更をしている。 また、児童が自分で考え、成長が自ら感じられるような取り組みを職員で共有している。	支援内容など固定化せず、常に新しい支援内容など考え、個別療育を取り組んでいく。
2	集団療育では、運動は基本動作や視覚など取り入れ児童が遊び感覚で楽しめる取り組みをしている。	「できない」から「できた」と思える内容をしている。	今後も新しい内容を取り組み、児童が「できることが増えた」と実感できるように楽しんで学べる内容を取り組んでいく。
3	集団療育では、認知は絵画、記憶、模倣など、就学したときに必要とされることを取り組んでいる。	各児童に合わせた内容をしている。	就学時に児童が困らないように、ひとりひとりをよく見て対応、支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園送迎の場合、保護者と会う機会が少ないため、保護者とのコミュニケーション不足がある。	事業所が保育園送迎をしている児童に関しては、保護者送迎をしている児童より保護者とのコミュニケーションが少ないと感じている。	モニタリング以外に月に1回または2ヶ月に1回の面談が必要と思う。
2	療育が主になるため、利用できる地域が限定されている。	送迎に片道10分以上の送迎場所が難しいこと。	保護者送迎であれば利用可能。
3			